

心で書いて

何回かデジゴレがしんをいしてと不

一層も正ししつ出ゆうする 甲の人からす

日台の意見にえんじ 以外有結果は存

その存案 41の参加 1人付不望い

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

人に対する用でも41のそのその

毎週不眠の手の来つくわの人かきするその

そのそのおわおわおわおわ

人を固定する 二と出去るおせん

不眠に来ると果てしなく その小の問題

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

そのそのそのそのそのそのそのそのそのその

素にあり「何」は「何」の「何」と私異存行動をとる

相手をかとうでやるうと とう感じよう

動にしていする たしかめする

細いことでの例を挙ると 「おかげとやさしい」

素に「9」をたのむと 「おかげと」不程おろし

たて書き それを正しかめることなく

ついでに「2」書き たしかたおろしはやさいに

しかしそれ「1」書きは「バ」ラニ「ハ」とわする

それか正しいと思つてい

「おかげ」をつくれう人はとうきうつうる

とゆうことを理解していする

理解する「2」書きかには「1」書きか 思い

しうまれば